

創刊に際しまして、御礼申し上げます。

この事業を始めたそもそもの動機は、「みんなが自由に愉しく生きられるヒントや場を提供したい。」と強く思ってきたこと。

私には、「世の中の万物が尊く自由なんだ。」という考えが根底にあります。

祖父は百姓兼お菓子会社の創業者でした。私のロールモデルです。本業は百姓だけど、徳で慕われるビジネスオーナーでもある。

私は、社会に役立てると信じてエネルギーを含むプラント業界に身をおいて、10数年外資系メーカーで、エンジニア、技術営業、プロダクトマネージャ、事業部長を務めてきました。

私は、様々な技術と人に興味があるので楽しい仕事です。欧米系ビジネスのゲーム感覚に魅了されつつも、競争は激烈で、「そもそも人に優しいのか?」「人に役立っているのか?」と、5年ほど前から疑問を持ち始めました。

その後、2年ほど前に、那須の非電化工房主催の「地方で仕事を創る塾」で共生型ビジネスを学びました。

多くを得ました。仲間。周りとのバランスをとる生き方など。

塾で、ビジネスモデルをいくつか創りました。その一つが、マザーアースニュース日本版のモデルです。

今の世の中は、いろいろあるけど、それでも、史上最高に幸せな世の中だと思います。どんどん良くなるのが宇宙の法則です。ただ、今は過渡期で、社会の膿がいろいろ出ている時期。

みんなが、モノ、既存の枠組み、組織に頼り過ぎる生き方を卒業して、仲間と自発的に自由な活動を愉しんでいけば、いきいきした世の中になっていきます。だから、「みんなが自由に強く生きられるヒントや場を提供したい。」と思い活動をしています。

今、みんなに必要なのは、知識、それから特に、きっかけや仲間。1年前から、仲間5人で、マザーアースニュースの記事を日本語にして、知恵を広めたり、「マザー伝道師活動」や試すサークル「ぢきゅう人」などのイベントをしています。

マザーアースニュースは、去年の震災の時に、仲間が言ってくれた一言。「今こそやりましょう！日本のみんなに役立つはずですよ！」から本格的に活動を始めました。そこで、米国の出版元の社長Bryanさんに、直接連絡して、想いを伝えたら、「Cool Idea!」と言ってくれ「僕も世界中に広めたいと思ってるんだ。」と協力してくれています。

今年の4月から、私の勤務先の外資系メーカーの社長に事情を話し、「週1日起業、週4日勤務させてください」とお願いしOKを貰って、週1起業家としてやってきました。

ホームページも開設して、利益が充分でる程予約購読者が集まったら、発行します。と言っていたら、有難いことに予約購読者が、多数現れました。

「予約購読者がこんなにたくさんで、嬉しい!!」と妻に話したら、「そんなのんびりしてると、みんなに忘れられちゃうよ。」と言われ、あせった方がいいのか。と思ってたら、非電化工房の藤村靖之先生もメルマガで宣伝してくれるようになり、腹を決めて「2012年11月に創刊します。」とみなさんへ宣言しました。

そして、先月11月、翻訳をボランティア(収益が出たら謝礼)でやってくれる仲間10人の力をお借りして、晴れて、「マザーアースニュース日本版は創刊しました。」おかげさまで、多数の方々に読者になって頂き、商品も発送しました。

マザーアースニュースは雑誌を超えた雑誌と言われ、ファンの熱い輪を形成しています。日本にあるような退屈な感じのお手本でなく、突き抜けたネタでインスパイアしてくれます。そんな良さ、アメリカの創意工夫やチャレンジを賞賛する文化がぶんぶん匂ってくる雑誌です。

そこが、日本のみなさまにも受け入れられたのだと思います。

みなさま、どうもありがとうございます。これからも、丁寧に良い商品を提供していき、「みんなが自由に強く生きられるヒントや場を提供したい。」という想いで、進んでいきます。

今後ともよろしく願います。

2012.12.06 代表 杓名 輝政